

第72回 大沢地区まちづくり会議 結果

日 時 令和5年2月14日(火)19:00~20:20
場 所 大沢公民館 大会議室
出席者 18名(3名欠席)
傍聴者 1名

1 開 会 (大貫勲副代表)

2 あいさつ (佐藤代表)

3 教育委員会からのお知らせ

学校給食課長から、市では、中学生全員が等しく温かい給食を食べられる状況を目指しているところだが、衛生基準を満たすには、配送時間は30分が目安で、市内に新たに2か所の学校給食センターの設置が必要とされていることから、令和4年3月末に完校する県立相模原総合高等学校の一部が、10校8,000食の提供を担う(仮称)北部学校給食センターの候補地となった。また、稼働目標は、令和8年の2学期であるという説明があった。

4 報告事項

(1) 区民会議について

佐藤代表から、次のとおり、緑区民会議について報告があった。

この会議は、平成22年の政令市移行に伴い導入された区のまちづくりの方向性を協議する場で、1期2年、今年度で7期目を迎え、今期は、緑区としての一体感の醸成、コミュニティの形成に向け、区内の各地区の情報共有、地域の魅力発信、発信の方策に関する意見交換を行っている。

今年度は、各地区の主だったスポットの紹介や、その魅力をどのように活用すべきか等の意見交換が行われた。

(2) 道路交通部会について

大貫部会長から、次のとおり、部会について報告があった。

道路部会は、平成24年7月から、活発な意見が交わされ、翌年3月に大沢地区の主要幹線道路の改善要望書を市に提出した。

その後も、毎年度、市の担当職員を招いて、要望書箇所の整備状況等の確認と意見交換を重ねてきたが、周辺環境に変化があったため、要望内容の見直しを行い、令和3年9月28日に佐藤代表から、改訂版の要望書を市の土木部長に手渡した。

本年度は、担当課から令和4年3月に見直された市の道路整備計画に、上中ノ原交差点の整備と、県道鍛冶谷相模原の大島交差点から水場バス停までの間は、優先整備箇所に位置づけられた旨の報告を受けた。

また、従前は、部会員の他は、市の担当課のみが出席していたが、県道厚木城山

の九沢小入口交差点の進入規制の要望をしたことなどから、今後は、北警察署員も同席してもらえることとなった。

年度内に本年度の進捗を確認したいと申し入れているが、担当課の回答待ちとなっており、結果は、次年度の当初にご報告させていただきたい。

(3) 地域ケア会議について

大沢地域包括支援センター松下代表センター長から、次のとおり、地域ケア会議について報告があった。

今年度は、地域の福祉支援者のネットワークの構築を目的に、大沢地区を6つの区域に分け、民生委員、介護支援専門員、地域包括支援センターで、座談会形式の情報交換会を実施した。各自治会エリアの特徴を共有し、地域の良いところや課題を出し合い、良いところとしては、豊かな自然環境、歴史や伝統、住民が穏やかで気さくであること、困っているところとしては、自治会加入率の低下、世代間交流の減少、坂が多く道が狭い等が挙げられた。

この結果を基に、解決に向けた取組を検討していくが、階段の昇り降りができることが、大沢地区で生活する上で大事なことと捉え、散歩、いわゆるウォーキングであれば場所も取らず、交流もできて健康維持につながると考えている。今後、地域の皆さんにご意見をいただく場が設けられるとありがたい。

(4) 地区防災計画について

事務局から、資料のとおり、改訂版が完成した旨の報告があった。

5 議 題

(1) 令和4年度の活動内容について

事務局から、今年度の会議が資料のとおり、活動内容の説明があった。委員からの意見はなかった。

(2) 令和5年度を取組について

事務局から、資料のとおり、次年度の開催スケジュール案が示され、承認された。

また、役員会で、本会がまちづくりを考える懇談会の議題に関する議論に終始してしまうので、懇談会とは別に、同時進行で地域課題に係る意見交換をすべきではないかという提案があったため、事務局から、過去のまちづくりを考える懇談会の議題から、今後も地区の課題として考えられる項目を抽出した資料が提示された。

当該案やその他の案以外でも、各委員の所属する団体等で、日頃から課題としていることなどについて、意見を募ったが、特に意見は出なかったため、次回以降、改めて議論すべき課題について調整することとした。

6 その他

事務局から、以下の点について、依頼があった。

- ・次年度に、出席委員に変更がある場合には、出席者変更届を提出すること。
- ・小・中学校長及び小中学校P T A代表については、資料の輪番表で確認し、各校で申し送ること。

7 閉 会（大貫君夫副代表）